

提出日：平成 21年11月20日

「eスクール2009」～ICTを活用した「わかる授業」の実践！ 調査報告書

小野寺香絵（東北大学大学院情報科学研究科 技術支援スタッフ）

場所
さいたまスーパーアリーナ(埼玉県さいたま市)
日程
2009年10月30日(金)10時～11月3日(火・祝)17時
主催
文部科学省/eスクール2009協議会
目的
ICT授業に関する現場での取り組みや最新の動向について調査する
概要および成果
1. 概要 「e-スクール」とは、学校のICT活用について教員や一般市民を対象に、講演や模擬授業、企業展示などから広く学べる年に一度のイベントである。 今回参加した「e-スクール2009」は、「第21回全国生涯学習フェスティバル(まなびピア埼玉2009)」と同時開催で、5日間のイベント中、3つの講演と21の模擬授業、16企業によるブース出展が行われ、約590名が参加した。(期間中のさいたまスーパーアリーナ来場者は408,241名。)10月30日と11月2日の2日間は、埼玉県教育委員会の研修日としてあてられた。 【講演】 ICT教育をリードする3名の指導者によって講演が行われた。 (1)「再検討！普段着のICT活用」 放送大学ICT活用・遠隔教育センター教授 中川一史氏 「ICT活用の効果」と「ICT環境を揃える手段」について、具体的な取り組み事例やその効果の紹介があった。 (2)「教育の情報化と学校のICT環境ー新学習指導要領への移行にあたってー」 東京工業大学監事・名誉教授 eスクール2009協議会会長 清水康敬氏 「ICTの意味」「最近の状況」「新学習指導要領」「教育の情報化に関する手引」「ICT活用の調査結果」について説明があった。 (3)「新学習指導要領と情報の活用」 国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官 文部科学省生涯学習政策局参事官付教科調査官(併) 大倉泰裕氏 「新学習指導要領における目的と手段とは」と「言語活動の充実と情報の活用」について、中教

審の答申を引用して説明があった。

【模擬授業】

学校の教室を模したオープン教室で、埼玉県を中心に全国の小中学校で優れたICT活用の授業をされている教員によって21の授業が行われた。

【展示ブース】

教育用ICT機器やデジタルコンテンツ、ソフトウェア等の展示とデモンストレーションが、16の企業によってそれぞれのブースで行われた。

2. 成果

（講演から）

大倉泰裕氏の講演から、新学習指導要領とICT活用との関わりを再確認することができた。とくに、新学習指導要領で示されている「思考力・判断力・表現力等の育成」については言語活動の充実が求められており、その手段としてICTの活用が大きな役割を担うことがわかった。

清水康敬氏は、自ら行った調査結果から、授業でのICT活用の効果を説明した。具体的には、ICTを活用した授業を受けた児童生徒の客観テストの結果がそうでない場合よりも高いこと、また児童生徒を対象にした意識調査からICT活用は児童生徒の関心意欲や知識理解を高めることがわかった。

（模擬授業から）

短期間で複数の模擬授業に参加したことで、各授業を比較しながら情報リテラシーについて考えることができ、非常に有意義であった。ここでは、模擬授業の様子から必要と感じた教師に求められる情報リテラシーを、「授業に最適と思われるコンテンツを探し出す力」と「授業に最適と思われるツールを選択し活用する力」、「授業の必要に応じて、教材を新規に作成したり表現を工夫したりする力」の3つに分類し考察する。模擬授業では、「授業に最適と思われるコンテンツを探し出す力」が求められた場面の頻度が多く、ICT活用のベテランであるゆえ、自作コンテンツではなく既存のコンテンツを上手く活用していたように思われる。また、「授業に最適と思われるツールを選択し活用する力」については、ICTの特長を理解した上であえて非ICTを用いたのであろう場面が散見された。アイデア満載と感じた授業では、「授業の必要に応じて、教材を新規に作成したり表現を工夫したりする力」が求められる場面が見られた。

児童生徒に身につく情報リテラシーは、文科省が「教育の情報化に関する手引」で定めた情報教育の目標から、「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」の3つの視点に分類した。どの項目もICTを活用した実体験や疑似体験を通して学ばせていた。

中川一史氏が講演で、「ICT活用のポイントは、非ICTの選択と組み合わせであり、教師がうまく使い分けることによって、子どもたちもうまく使い分けることができるようになる。」と指摘した。教師が自らの情報リテラシーを向上させることが、子どもに対する情報リテラシー教育の重要な手段として位置づけられることも、今後の検証の一つとしていきたい。